

# 平成22年度一般会計当初予算 210億3,000万円

平成22年第1回つがる市議会定例会において、平成22年度つがる市一般会計当初予算が可決されました。平成22年度一般会計の予算規模は、210億3,000万円で、前年度当初予算に比べて5億4,000万円、率にして2.5%の減になっています。当初予算編成に当たっては、これまでの財政健全化方針を継続しながら行政改革、事業見直しなどを行い、財源の効果的な配分に努めました。

## 一般会計予算を市民1人あたりにすると

### 55万5,937円

平成22年3月1日現在の人口37,828人で単純に算出したものです。

目的別	金額	目的別	金額
民生費	16万387円	土木費	4万82円
公債費	9万3,027円	消防費	3万3,963円
総務費	6万5,364円	議会費	5,388円
教育費	5万7,529円	商工費	3,727円
衛生費	5万1,174円	労働費	2,110円
農林水産費	4万2,393円	予備費	793円

## 用語の説明

### 歳入

#### ■繰入金

一般会計、特別会計、基金の間で相互に運用されるお金

#### ■使用料及び手数料

市の施設の使用料や住民票などを交付したときの手数料など

#### ■分担金及び負担金

市が行う事業で特定の利益を得る人などから負担してもらおうお金

#### ■地方交付税

地方自治体ごとの財政運営の均衡をとるため国から交付されるお金

#### ■国庫支出金・県支出金

特定の目的の財源として国・県から交付されるお金

#### ■国有提供施設等所在市町村助成交付金

米軍が使用する固定資産について、国が市に対し財政調整とその補償のため交付されるお金

#### ■市債

市が事業を進めるため、国や銀行から借入るお金

#### ■地方譲与税

一度国税として徴収され、その後市町村に分配されるお金

#### ■地方消費税交付金

市民の皆さんが納めた消費税の一部を財源として県から交付されるお金

### 歳出

#### ■民生費

福祉や年金、医療、保育所運営などに使われるお金

#### ■公債費

市の借入金（市債）の元金や利子の償還に使われるお金

#### ■総務費

全般的な管理業務や財政、財産管理、徴税、選挙などに使われるお金

#### ■教育費

小中学校の運営や教育、文化、スポーツの振興などに使われるお金

#### ■衛生費

各種健診や予防接種などの保健関係、ゴミやし尿の処理などに使われるお金

#### ■農林水産業費

農林水産業の振興や農道などの整備に使われるお金

#### ■土木費

道路や公園の維持補修や整備のために使われるお金

#### ■消防費

消防、防災、災害対策などに使われるお金

#### ■議会費

市議会の運営のために使われるお金

#### ■商工費

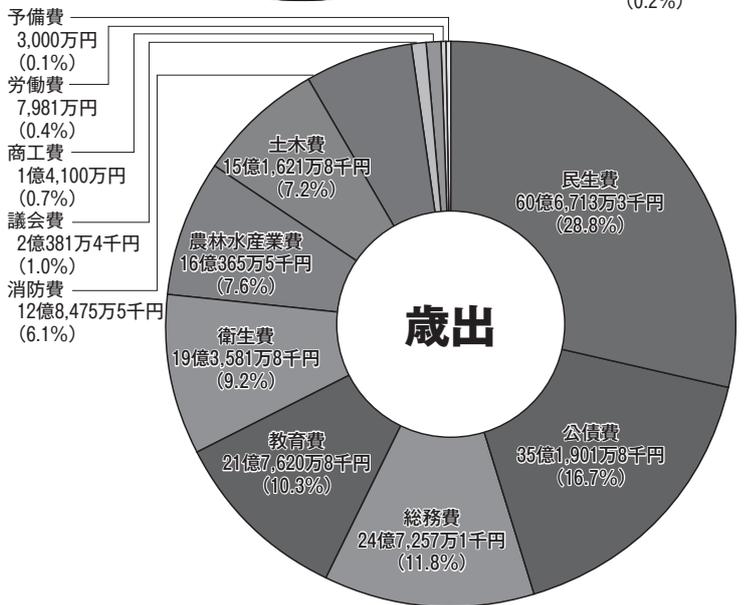
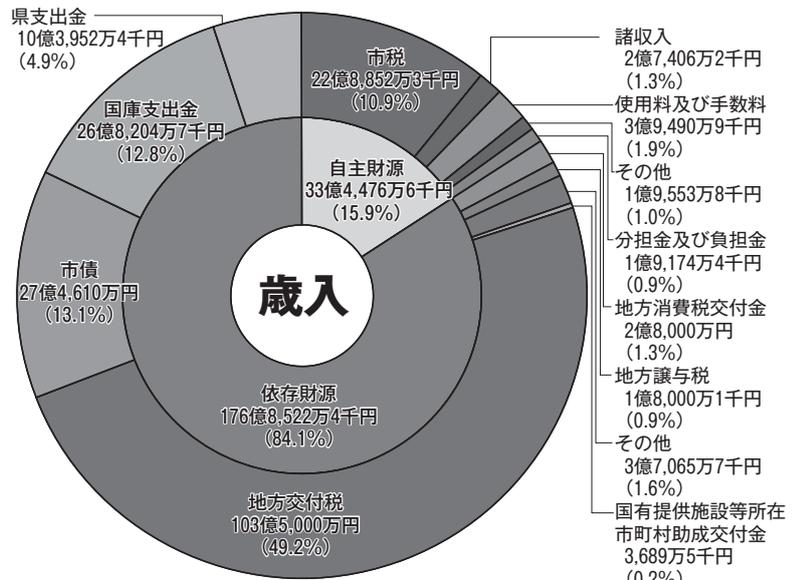
商工業や観光の振興に使われるお金

#### ■労働費

雇用の安定のために使われるお金

#### ■予備費

急を要する予算外の支出に対応するためのお金



## 会計別当初予算額

(△は減)

会計の名称	平成22年度	平成21年度	増減率
一般会計	210億3,000万円	215億7,000万円	△2.5
特別会計	112億3,921万2千円	111億2,491万4千円	1.0
土地取得	廃止	521万6千円	皆減
農業集落排水事業	6億586万円	7億9,142万円	△23.4
公共下水道事業	6億4,852万3千円	6億6,311万2千円	△2.2
国民健康保険	56億7,219万2千円	54億7,404万2千円	3.6
老人保健	82万6千円	583万円	△85.8
後期高齢者医療	6億1,196万6千円	6億1,468万6千円	△0.4
介護保険	36億9,984万5千円	35億7,060万8千円	3.6
企業会計	20億5,593万円	19億6,965万円	4.4
病院事業	20億5,593万円	19億6,965万円	4.4

# 歳入

市税は平成21年度の収入見込額を基に景気の動向等を考慮し前年度比2.5%減の22億8,852万3千円、地方交付税は雇用対策・地域資源活用臨時特例費等の創設により同比1.1%増の103億5,000万円、県支出金は合併支援特別交付金の支給が終了したため、同比4.7%減の10億3,952万4千円、国庫支出金は米軍再編交付金や子ども手当事業費などで同比17.8%増の26億8,204万7千円、繰入金は同比28%減の8,493万7千円を見込みました。

# 歳出

(1万円以下は四捨五入)

## 1. 全国的ブランド“つがる”への取り組み

### ●つがるブランド推進会議補助金 …… 3,100万円

つがるブランド商品開発、農産物のブランド化、販売促進活動を行い、テレビCMなどを製作・放映してPR活動に取り組みます。

### ●農業用プラスチック回収対策事業 …… 180万円

適正な処理に努めるため、運搬や処理の経費1キロ当たり約34円の1/4を市が補助します。

### ●果樹経営支援対策事業 …… 304万円

より品質の良いりんごを生産するために、わい化改植農家への支援に取り組みます。

### ●埋蔵文化財発掘事業 …… 1,872万円

亀ヶ岡遺跡及び石神遺跡の試掘と保護及び調査報告書の作成を行います。

## 2. 農業振興への取り組み

### ●果樹共済加入促進事業 …… 169万円

霜やひょうによる果樹被害の対応策として、加入促進を図り、果樹経営農家の安定化に取り組みます。

### ●炭素利用事業 …… 433万円

基盤整備された圃場で、炭素を活用した効果と検証に取り組みます。

### ●農地・水・環境保全向上対策事業 …… 1億2,541万円

109の組織が活動する農村環境の良好な保全と質的向上を図り、農地や水などの環境保全に取り組みます。

### ●車力漁港整備事業 …… 1億3,080万円

漁場の生産基盤振興を図り、防波堤及び護岸の整備に取り組みます。

### ●草地整備事業 …… 341万円

播種機を購入して市牧野の植生維持に努め、採草畑の改良に取り組みます。

## 3. ひとつづくりへの取り組み

### ●コミュニティ助成事業 …… 1,380万円

宝くじの助成を受け、住民が主体的に行うコミュニティ活動への助成を行います。

### ●姉妹都市国際交流事業 …… 426万円

国際感覚豊かな人材を育成するため、姉妹都市米国メーン州バス市への訪問活動を行います。

### ●学校教育活動支援員配置事業 …… 1,353万円

教育指導体制を強化するため、学校に支援員（スクールサポーター）を配置し、学校教育推進に取り組みます。

### ●学校教材等備品整備事業 …… 7,875万円

情報教育の充実を図るため、小中学校の情報機器の整備を行います。

### ●向陽小学校建設事業 …… 4億9,797万円

老朽化した校舎及び屋内体育館の改築を行います。

### ●体育館耐震化事業 …… 308万円

牛湯小学校、車力小学校及び柏中学校の屋内体育館耐震補強工事の設計に取り組みます。

## 4. 安心・安全・快適な地域社会への取り組み

### ●交通対策事業 …… 1,249万円

市内の公共交通として、乗合バス、廃止路線代替バスを運行し、市民の移動手段確保に取り組みます。

### ●交通安全対策事業 …… 926万円

交通事故防止対策のため、新入学児童への黄色安全帽子の支給、施設整備工事や交通安全団体への補助を行います。

### ●イオン出張所拡張移転事業 …… 1,212万円

市民の利便性を図るため、フロアスペースの拡張を行います。

### ●防災ネットワーク整備事業 …… 1,146万円

デジタル対応化によるネットワークの改修を行います。

### ●介護・訓練等給付事業 …… 5億5,800万円

障害者自立支援を目的に、介護や機能訓練などの給付を行います。

### ●児童・子ども手当支給事業 …… 6億5,625万円

次世代を担う子どもたちが、健やかに成長できるように児童、子ども手当の支給を行います。

### ●健康増進施設整備事業 …… 2億4,221万円

稲垣地区に地域住民の健康増進を図るため、温泉を取り入れた施設の建設を行います。

### ●地域振興対策事業 …… 5,965万円

深刻な雇用情勢対策としてつがるブランド商品の開発やマーケットを開拓する企業などが、新規雇用する際の支援に取り組みます。

### ●除雪対策事業 …… 3億8,199万円

市内全域の除排雪や防雪柵の設置などを行い、冬期間の市民の安全確保に取り組みます。

### ●住宅対策事業 …… 1億383万円

市営住宅の修繕、改修及び建設を行います。

### ●消防施設整備事業 …… 2億1,395万円

市民を火災や災害から守るため、消火栓の新設、コミュニティ消防センター（吉出、出野里、千代町）などの建設を行います。

## 5. 健全な行政運営への取り組み

### ●広報事業 …… 596万円

市政の方向性や施策、まちの話題などを広報紙に掲載し、市民に分かりやすく伝えることに取り組みます。

### ●市総合計画の策定 …… 576万円

総合計画の後期基本計画の策定に取り組みます。



車力中学校

耐力度調査で危険校舎となっていた車力中学校の全面改築工事が終了し、新車力中学校が平成22年3月に完成。旧校舎の敷地内に建設された新校舎は、鉄筋コンクリート2階建てで延床面積4,233平方メートル。内装にはヒバ材がふんだんに使用され、6つの普通教室、市のシンボルである花（ニッコウキスゲ）、木（クロマツ）、鳥（カッコウ）の名前がつけられた特別支援教室、各階には多目的ホールを備え、温かみのある空間となっています。

現在は校舎のみが完成し、平成23年1月に体育館（延床面積1,677平方メートル予定）が完成予定。工事費は完成した新校舎が約8億7,500万円、着工する体育館は約4億円を見込んでいます。

# 新車力中学校が完成

「ゆとり」の空間が感じられる学習環境



多目的スペース（1階）

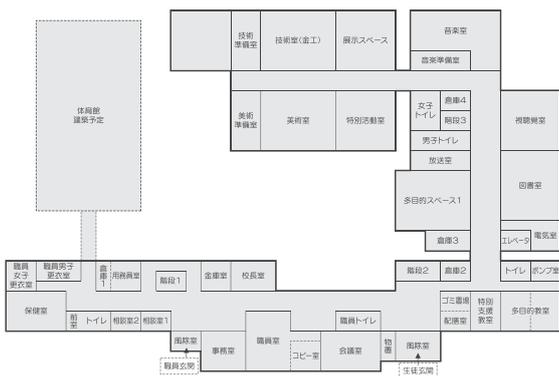


コンピュータ室



普通教室

## 1F 校舎平面図

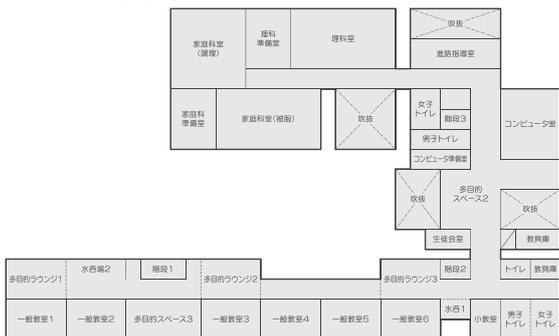


音楽室



図書室

## 2F 校舎平面図



保健室



理科室（調理）

### －校章－

車はいわゆる車を示す。両側の太い線は両輪を示す。中心の縦棒はがっちりした心棒で質実剛健を示したものを。車をかこんでいるものは先祖が育てた屏風山の松と車力地区一帯に広がる稲田を示した地域性をあらわしたものを。



# かい そう ほう 『回想法』で 認知症予防

市地域包括支援センターでは介護予防教室の一環として21年度、高齢者の認知症予防を目的に回想法を取り入れた「いきいき教室」を開催。元気な高齢者を増やすことで地域活性化や世代間交流の活発化を目指している取り組みを紹介します。

## ■モデル地区は富港町清水地区

市地域包括支援センターでは、市内でも老人クラブ活動が盛んな富港町の清水地区をモデル地区に、回想法を取り入れた「いきいき教室」を実施。平成21年10月から12月まで全8回、70代から80代の男性2人、女性10人が週1回のペースで清水保健福祉館に集まり教室に参加しました。

## ■回想法とは

「回想法」とは、自分が体験した遊びや昔の生活を思い出し、仲間と語りあうことで脳や心の働きを活性化させる手法。米国の精神科医ロバート・バトラー氏は“回想は自分の人生をとらえ直す積極的な心の動き”であると提唱しています。



積極的に過去を振り返ることで、仲間との交流が深まります

## ■参加者の声

いきいき教室では毎回「小学校」「結婚」といったテーマを設け、参加者が2班に分かれて思い出を語り合います。参加者からは「回を重ねていく度に、若い頃のことを自然に話せるようになった」「心が若返った気分」「残り少ない人生を悔いなく生きていきたい」「みんな顔見知りだが、それぞれ悩みを乗り越えてきたことがわかり、仲間とのつながりが深まった」などの声がありました。

## ■表情豊かに、記憶力が改善

教室の実施前と実施後に高齢者集団認知機能検査を行い、事業効果を分析しました。その結果、高齢者が自分の人生を振り返り、地域の仲間と思い出を語りあったことで、**回を重ねるたびに参加者の発言が増え、表情が豊かになり、脳や心の働きがいまひとつし、記憶力の改善に結びついていることが分かりました。**また、今回の参加者を「いきいき隊隊員」に任命し、地域の人々に**回想法の効用**を伝える役割を担ってもらえることに期待しています。地域包括支援センターは21年度の結果を踏まえ、引き続き22年度も高齢者対策の一環として介護予防教室を継続することとしています。



子育ての思い出をテーマに赤ちゃんが入るかご「えんつこ」を囲む参加者の皆さん

## 住み良い地域づくりに貢献します

市では平成21年度に住民生活の利便性の向上と地域の一体的な発展等に役立てるため、再編交付金及び民生安定施設整備事業補助金を活用して各事業を実施いたしました。実施した事業についてお知らせします。

### ■再編交付金で実施した事業



車カウエルネスセンター施設改修事業



小型ロータリ除雪機購入事業



ポンプ付水槽車購入事業

その他につがる地球村交流施設改修事業、牛瀧36号線舗装事業、山崎線改良事業、高規格救急車購入事業、つがる市姉妹都市国際交流事業（基金造成）、つがる市まつり事業（基金造成）を実施しました。

### ■民生安定施設整備事業補助金で実施した事業

豊富33号線道路改良事業、木造屏風山線外2改良舗装補修事業

※つがる市姉妹都市国際交流事業（企画課）、つがる市まつり事業（商工観光課）の基金造成事業の計画は市ホームページ及び各担当課で公表しております。